令和6年度第2回 松江市障がい者差別解消推進委員会 議事録

- 1 日時 令和6年11月18日(月) 13:30~14:48
- 2 場所 島根県市町村振興センター 6階中会議室(松江市殿町8-3)
- 3 出席者

(1) 委員

出席：門脇委員長 広野副委員長 水内委員 宍道委員 中村委員 足立委員
欠席：安部委員 松浦委員 富澤委員 小田川委員

(2) 事務局

健康福祉部：松原健康福祉部長 岸本次長
(障がい者福祉課) 川島課長 曾田係長 村田係長 仲田係長
土井副主任 三井副主任

4 議題

- (1) 委員の改選について
- (2) 協議事項
 - ① 差別解消推進委員会の役割と取組状況
 - ② 障がい者差別解消条例に基づく表彰選考(本項目のみ非公開)
 - ③ その他

5 会議経過

【開会】

○川島課長 定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第2回松江市障がい者差別解消推進委員会を開催いたします。皆様におかれましてはご多忙の中、ご出席をいただきましてありがとうございます。私は障がい者福祉課の川島と申します。よろしくお願いいたします。今回は委員の改選以降初めての開催となりますので、議長選任まで司会進行は私が務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。開会にあたりまして、健康福祉部長の松原からごあいさつを申し上げます。

○松原部長 健康福祉部長の松原でございます。皆様におかれましては本日はご多用のところ、また足元の悪い中ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。10月にこの委員会は役員改選をさせていただいております、その後の初めての会となりますが、新たに委員をお引き受けいただきました方、また継続して委員を引き受けていただいております皆様に、まずもって御礼を申し上げます。引き続きよろしくお願いいたします。

本市では平成28年に障がいのある人もない人もともに住みよいまちづくり条例を制定しております。これに基づきまして、毎年12月の障害者週間に障がい理解に貢献のあった団体や個人の方に市長表彰を行っているところでございます。本日はその候補となる団体の審査をしていただきたいと思います。お待ちしておりますのでご審議をよろしくお願いいたします。

あわせて、かねてから準備を進めておりました手話言語条例について、この委員会でも報告を

させていただいておりますけれども、来週から始まる松江市議会に条例案を提出するという段階でございますので、ご報告させていただきます。制定の暁には手話への理解普及などに取り組んで参りたいと思っておりますし、また障がいの種別に限らず、障がい理解の取り組みは継続して行って参りたいと考えておりますので引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願い致します。

【委員の改選について】

○川島課長 それでは次第に従って進めて参ります。次第 2 番目の「委員の改選について」に入らせていただきます。令和 6 年 10 月 1 日から新たに皆さまを委員として委嘱させていただきました。今後 2 年間の任期で各種審議をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。委嘱状につきましては皆様の机の上に配布させていただいておりますので、よろしくお願い致します。

それでは、委員を継続された方もいらっしゃいますが、新たに委員となられた方もおられますので、こちらから名簿順にお名前を申し上げさせていただきます。

島根県弁護士会より門脇委員様です。

松江市身障者福祉協会の広野委員様です。

松江市精神障がい者家族会協議会の安部委員様は本日ご欠席です。

島根県立大学人間文化学部より水内委員様です。

松江市手をつなぐ育成会より宍道委員様です。

松江市相談支援事業所連絡協議会より松浦委員様は本日急遽ご欠席です。

松江市医師会の富澤委員様はご欠席です。

松江公共職業安定所の小田川委員様はご欠席です。

特別支援学校の五輪ネットより中村委員様です。

松江人権擁護委員協議会より足立委員様です。

本日は 6 名の委員の皆様で審議をしていただくこととなります。どうぞよろしくお願い致します。今回、委員定数 2 分の 1 以上の出席をいただいておりますので、松江市差別解消条例施行規則の規定により、本委員会が成立しておりますことをご報告します。

続いて委員長、副委員長の選出でございます。委員長の選出につきましては、松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例、略称を松江市差別解消条例とありますが、その条例の規定により互選となっております。事務局で案を用意しておりますので提案させていただいてもよろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、事務局案として委員長には前回任期に引き続きまして門脇委員を提案しますがいかがでしょうか。

(異議なし)

では、拍手でご承認をお願いします。

(拍手)

ありがとうございます。続いて、副委員長は、同じく条例の規定により、委員長の指名となりますので、門脇委員長に副委員長のご指名をお願いします。

- 門脇委員長 では本委員会の副委員長には、引き続き広野委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。
- 川島課長 広野委員、ご指名がありましたのでご了承をお願いします。それでは、門脇委員長、広野副委員長からごあいさつをお願いします。
- 門脇委員長 委員長に指名いただきました門脇と申します。前回の任期に引き続き務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。私、普段は弁護士業をやっておりますが、委員の中で一番障がいのある方、若しくはご支援されている方と接点が乏しい立場にあると思います。私も毎回委員会で委員の皆様のご意見を伺って非常に勉強させていただいております。今後どうぞよろしくお願ひいたします。
- 広野副委員長 副委員長に選任をいただきました松江市身障者福祉協会の広野と申します。福祉協会は、肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がいの3団体の連合体でございます。それぞれ、種別程度によっていろいろな課題がございます。そうした我々の本当に困っていることを、市長さんに要望することなどの活動を行っている団体でございます。よろしくお願ひいたします。
- 川島課長 続いて審議に移りますが、本委員会は、条例の規定により委員長が議長となることとなっております。これより後は門脇委員長に進行をお願いしたいと思います。
- 門脇委員長 それでは、進行させていただきます。審議に入ります前に、まず本会につきましては、「松江市情報公開条例」の規定により原則公開となりますが、本日予定されている項目の中で非公開の基準に当てはまるようなものがありますか。
- 曾田係長 障がい者福祉課で障がい者政策係長を務めております曾田と申します。引き続きの委員の皆様、今回新たに就任いただく皆様、今後ともよろしくお願ひします。非公開の基準につきましては松江市情報公開条例の規定に基づき、本会における協議事項のうち(2)松江市差別解消条例に基づく表彰選考については非公開の基準に該当します。

【協議事項】

(1) 松江市障がい者差別解消推進委員会の役割と取り組み状況

- 門脇委員長 それでは表彰選考は非公開とします。では、次第に沿って進めさせていただきます。協議事項の(1)松江市障がい者差別解消推進委員会の役割と取り組み状況について事務局からお願ひします。
- 曾田係長 資料1を御覧ください。障がい者差別解消推進委員会の役割と取り組み状況について説明します。この委員会は、略称で申し上げますと障がい者差別解消条例に基づいて設置されています。この条例は平成28年度に制定したもので、障がい理解の拡大に向けました、市の責務、市民の役割、差別・虐待の禁止、合理的配慮の推進等を規定する条例です。条例の抜粋を御覧ください。第10条を記載しております。また、障害者差別解消法では、市町村は障害者差別解消支援地域協議会を設けることができるとなっておりまして、松江市はこの差別解消推進委員会を国が定める協議会と兼ねるといふ運用を行っています。

委員会の概要につきましては、委員構成として10名以内で構成をしております。役割については、3つの役割を設けておりまして、ア障がい差別等事案にかかる申立ての調査及び審議、イ障がい理解に貢献のあった団体等への表彰、そしてウその他です。アは障がい者差別案件があったときに本人又

は家族からの助言、あっせんの申し立てがあった場合に、市は助言、あっせんの必要性を委員会に諮問しまして、委員会は助言あっせんの必要があるかを判断して市に答申をするという役割を担っていただいています。流れにつきましては図の通りでございまして最終的には市へ答申をいただいて、助言、あっせんをして、解決へ向かうものです。差別を行った団体、個人がそれに従わない場合には、勧告、またその情報を公表するフローとなっています。

差別解消推進委員会に、助言あっせんの申し立てがあり協議までなった案件は、これまで1件しかございません。平成29年度に視覚障がい者の方から、職場で同僚から差別的言動を受けたという申し立てがございまして、その職場に対しそのようなことがないような職場環境づくりを行っていただきたいという助言をしまして、申し立てたご本人も納得ということで解決の方向に持っていくことができました。申し立てに至らない相談案件は頻繁にあるわけではありませんが時々ございます。令和6年度はつい先般相談が1件あり、盲導犬と飲食店へ行ったところお店から一緒に入るのを断られたというものでした。補助犬法で盲導犬は不特定多数の方が集まる場では、基本的に拒んではいけないとなっているところです。その飲食店に電話をいたしまして、法の趣旨である盲導犬を拒んではいけないということについてご説明をいたしまして、ある程度納得をいただいたということでいったんはクローズとしたところです。このような相談が時々ありまして、申し立てに至らないまでも我々の方で対応しております。

イ表彰の選考につきましては、12月3日から9日は障害者週間ということで全国で様々な障がい理解の取り組みがされておまして、松江市では障がい理解の取り組みの一つとして、市内で貢献のあった団体、個人を表彰して、市報やホームページに掲載して、その取り組みが市内に少しでも広がるように紹介しています。本日この後、候補団体の選考を行っていただきたいと考えております。

ウその他ですが、今後、差別解消条例の改正ですとか、その他の案件がありましたら、随時協議をさせていただいてご意見をいただくということをお願いしたいと思っております。これらの役割がございまして。

続きまして任期は2年、開催頻度につきましては、概ね年に2回から3回でして、報酬は御覧の金額のとおりです

次のページは、今年度の障がい理解の取り組みにつきまして記載しています。令和6年4月から差別解消法の改正によります、事業者による合理的配慮の義務化がスタートいたしまして、これにつきましては昨年度市報に掲載したり各団体を訪問して周知したりしましたが、改めて市報4月号で掲載しました。この法改正に合わせて昨年度、条例も同じく合理的配慮の義務化ということで改正をしておりますが、これをきっかけに、6月に障がい理解と共生社会のまちづくりセミナーを開催しております。全国団体のきょうされんの専務理事の藤井克徳先生にお越しいただき講演会を開催しまして、85名の方に参加いただきました。

また、若年層からの障がい理解を図りたいという考えがありますので、小学校校長会や中学校校長会で出前講座の紹介をいたしました。また今月ですが、市内の商工団体に昨年度も周知活動をしておりましたが、改めてお手紙で周知活動をいたしました。出前講座の回数、人数、現在のところ御覧のとおりです。校長会などでご紹介をさせていただきまして、昨年度よりも大変人数が増えており活用していただいています。特に手話出前講座につきましては令和5年度の活用人数が319人でしたが、既に大幅に超えて656人に活用いただいておりますし、障がい理解の方も昨年度が432人でござい

したが、もう少ししましたらその人数を超えると見込んでいます。

今後につきましては障害者週間の取り組み、また、手話言語条例は11月議会に議案を出す予定ですが、議会でご承認いただいた後、制定後を見越しましてイベントを考えているところです。

続いて4近年の審議事項でございます。令和4年度からの活動を記載しております。昨年度は差別解消条例の改正を法改正と併せて実施しまして、今年度4月から改正条例を施行しているところです。事務局からは以上でございます。

○門脇委員長 委員の皆様から質問などございますか。

○水内委員 先ほどお話聞きました今年度の取り組みのところ、障がい理解出前講座、手話出前講座はどういう方が講師をされていらっしゃるのでしょうか。

○曾田係長 市が行います出前講座ですが、松江市には様々な部局がございます。それぞれ所管のテーマに沿った講座を設けておりまして市民の皆様にご利用いただいております。障がい者福祉課では2つの出前講座を設けており、1つが障がい理解、もう1つが簡単な手話を学ぶことを通じて障がい理解につなげようという手話出前講座を行っています。障がい理解の出前講座につきましては障がい者福祉課の職員がテキストを作りまして、対象の団体に合った内容に整えて小学校や中学校などに出かけて1時間程度の話を行っております。手話出前講座につきましては、松江市聴覚障害者協会にご協力をいただいております。障がいの当事者、ろう講師と言っておりますが、実際に聴覚障がいのある方に講師を務めていただいております。その講座を聞く側との間には手話通訳をつけて、簡単な手話について講座を行っています。

○水内委員 素晴らしい取り組みをされていると思います。ぜひ続けていただきたいと思います。

○曾田係長 先日も松江第一中学校から障がい理解の出前講座のご希望があり、中学生相手の内容に整えたりいたしました。昨年度は裁判所の職員さんが、精神障がいについて知りたいというご要望があり、内容を少し難しい内容に変えたりなど、相手によって変えながらやっております。

○水内委員 私も前任地で障がい理解の出前講座をやっておりましたので、今後、御協力できることがあればと思います。

(2) 松江市障がい者差別解消条例に基づく表彰選考

《非公開》

【その他】

○門脇委員長 続きまして、4 その他ですが事務局からございますか。

○曾田係長 手話言語条例につきまして少しお話をさせていただきます。令和5年度から手話言語条例を松江市でも作ろうと身障者福祉協会に加盟されております松江市聴覚障害者協会に、ご意見をいただきながら条例の案を作って参りまして11月議会に提案させていただきます。市議会でご承認をいただきましたら、予定では12月の終わり頃が公布日となり施行できるのではないかと考えております。制定となりましたらまたきちんとお示しをしていくことではありますけれども、例えば夏休みを使って子ども向けの手話講座を、若年層に向けて親和性のある時期に、手話や障がい理解について伝えていきたいという思いがあります。これまで松江市の中で手話に少し触れてみるような場があ

りませんので、初心者向けの講座もやりたいと思っております。少しずつニーズに沿いながらやっていけたらと思っています。

他にパンフレットを作成してお配りしたりとか、3月には条例制定の記念講演会をしたいと思っております。併せて、その日に、子ども向け、親子向けの手話講座も一緒に行いたいということで、まだ企画は固まりきっていませんが、そのようなイメージを持っています。イベントを開催するときには委員の皆様にもご案内させていただきますので、今後ともよろしく願いたします。

併せまして、手話言語条例ということでございますので、手話を広げていこうというところもございしますが、これは障がい理解に向けた1つの切り口とも捉えることができまして、障がいにつきましては身体、知的精神、その他の障がいも含めて、また手話も含めてこれからも進めていきたいと思っています。

○門脇委員長 他に委員の皆さんからございますでしょうか。

○中村委員 私は4月から松江養護学校におります。知的障がいのある子どもたちの学校ですが、簡単な手話を日常的に使っています。「終わり」とか「始めます」とか、そういったことがまだ知的発達が遅れで言語を持たない子たちにも非常に有効ですから、聴覚障がいだけではなくみんなに分かりやすく、優しいコミュニケーションツールだと思っています。一方で、自閉症などがあって、大パニックになっている子が、一緒にという意味の手話をして一緒にしたかったんだよって言葉は出ないけど、これでお互いに分かったよ一緒にやるんだよねって言って、それでパニックが収まるようなこともあって、私はろう学校から参りましたので、聴覚障がいに特化したものと思っておりましたがすごく意識が変わりました。始業式とか終業式も手話をつけた方がスライド流すより、表情も一緒に見てくれるので手話とセットで子供に伝わるんだなと、つくづく思ひまして、今回障がい理解のきっかけというところは、まさにその通りだと、お互いをわかり合える大事なアプリケーションツールだなと思ひましたので補足させていただきます。

○水内委員 情報提供ですが、私は島根県立大学に2023年4月に入りまして、それまでは富山県の大学で約20年教員をしまして、島根県にご縁がありまして来させていただきます。その時からずっと思っていたことがあります。実は島根県はLD等親の会の空白県でした。岡山県のLD等親の会に関して私は監修をしております、いろいろなことをさせていただきましたが、こちらに来るにあたってはぜひ島根県でもLD等親の会の立ち上げに関して、自分が尽力したいと思っていたところでしたが、幸いにも今年度より、島根県でも島根県LD等親の会の立ち上げができまして、縁結びの会といいます、この活動が島根県立大学の私と内山先生と話し合っただけで始まったところでした、島根県にもLD等親の会は有ると言えます。島根県全体を見渡した会があることを知っていただければと思います。私自身はそれだけじゃなくて、この4月から青年期当事者の会を始めております。若い人たちですけれども、オロチ牡丹の会という名前前で活動しております、SNSを中心として、月1回程度、対面の会をしております、会場として県立大学の教室を使っております。島根県にもそのような会があることを知っていただきたいと思っております。

○門脇委員長 それでは、議事が終了しましたので、進行を事務局へ戻します。

○川島課長 本日はご審議を頂き、また表彰候補者の審査をして頂きありがとうございます。門脇委員長には、円滑な議事進行をして頂き、誠にありがとうございました。11月議会に手話言語条例を議案として出しまして、スムーズにいきますと12月に公布予定となっております。講演会等を予定

では3月20日春分の日に松江テルサにて午後から行おうと思っております。親子手話教室と、それをやりながらテルサで就労支援事業所がいろいろなものを販売しているコーナーがございますので、それをいろいろ含めてやっていきたいと考えております。講演会につきましては聴覚協の皆さんと講師を相談しているところでございます。決まりましたらご紹介していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、以上をもちまして、令和6年度第2回松江市障がい者差別解消推進委員会を終了します。本日は大変ありがとうございました。

(以上)